

総合特別区域の進捗に係る評価
[ライフ・イノベーション分野]

令和元年度

みえライフイノベーション総合特区

[指定：平成24年7月、認定：平成24年11月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 (5+4.5)/2=4.8

4.8

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	統合型医療情報データベースの活用	100%	5
2	ヘルスケア分野の製品・サービスの増加	111%	5
3	ヘルスケア産業の振興	159%	5
4	ヘルスケア分野企業(第2創業含む)及び研究機関の立地件数(累計)	125%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値 (5×4+4×0+3×0+2×0+1×0) / 4 = 5

5.0

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.5

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 (2.8+1+4.2)/3=2.7

2.7

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

2.8

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

1.0

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.2

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.2

・統合型医療データベースの活用、みえライフイノベーション推進センター(MieLIP)や三重大学を中心として産官学の連携が進み、ヘルスケア分野の製品・サービスの創出、新市場開拓が着実に進展している。新製品の開発・販売のみならず地域経済にもよい影響をもたらしていることが高く評価できる。

・MieLIPによる成果であるヘルスケア分野の製品・サービスの創出に伴う新規雇用創出数については、県等の地域独自の支援事業によって今後より成果を期待できる。

・統合型医療データベース事業に関しては、データの質の担保と課題設定と課題解決への迅速性が求められる。データマイニング技術に精通した人材等の力強い関与が求められる。また、今後の維持・管理など持続性を高める方策の検討が求められる。

・既に目標を達成している数値目標(3)―②「ヘルスケア分野の製品・サービスの創出に伴う新規雇用創出数」及び(4)「ヘルスケア分野企業(第2創業含む)及び研究機関の立地件数」については、目標の上方修正や新たな評価指標の検討が必要である。

・企業立地等の成果を分析する際に、MieLIPの県内7か所の設置に対応した圏域間での評価が必要。今後は、そのような評価視点の導入を期待。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.2

総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算 $(4.8+2.7+4.2 \times 2) \div 4=4$

4.0

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

・評価は5～1(評点)で行う。

・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。

・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。